

株式会社リコーは、1936年2月6日に日本で設立されました。リコーグループは、株式会社リコーおよび子会社371社、関連会社24社で構成\*されており、世界5極(日本、米州、欧州、中国、アジア・パシフィック)において、複写機やプリンターなどの事務機器を中心に、製品の開発・生産・販売・サービス・リサイクルなどの事業を展開しています。全世界での従業員数は、7万4千人を超えています。

リコー本社事務所  
〒107-8544  
東京都港区南青山1-15-5 リコービル  
代表電話 03-3479-3111  
ホームページアドレス  
<http://www.rieco.co.jp>

\* 関係会社の範囲は米国会計基準に基づいていますが、日本の会計基準における関係会社の範囲との差異は僅かです。

## リコーグループのブランド

リコーグループは、RICOHおよび以下の各ブランドで製品を販売しています。

### ブランドマーク



## 創業の精神

リコーグループの創業の精神である「三愛精神」は、創業者の市村清によって定められたものです。市村清は「人は、愛の深まりと広がりとともに、世界の全人類、すべての動植物、ありとあらゆるものを自分と同じように愛するようになる」と述べています。これは、環境経営の実現を目指すリコーグループの原動力となるものです。

人を愛し、国を愛し、勤めを愛す  
三愛精神

## 経営理念

リコーの経営理念は、創業の精神「三愛精神」に基づいて、1986年に定められたものです。高度情報化社会の進展や価値観の多様化など、変革の時代にふさわしい社風や企業体質を醸成・育成するために制定されました。

### 私たちの使命

人と情報のかかわりの中で、世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、提供しつづける

### 私たちの目標

信頼と魅力の世界企業

### 私たちの行動指針

自ら行動し、自ら創り出す  
(自主創造)

相手の立場にたって考え、行動する  
(お役立ちの精神)

会社の発展と個人の幸福の一致をはかる  
(人間主体の経営)

## 環境綱領

リコーは、経営理念に基づいて1992年に環境綱領を制定し、1998年に改定を行いました。環境綱領は、「環境経営」の実現を目指すリコーのコミットメントとして位置付けられ、ホームページなどでも広く社会に開示されています。また、リコーグループ各社は、本綱領に準じた規範を、業態などに応じて別途策定し、運用しています。

### 基本方針

私たちは、経営理念に基づき、環境保全是我々地球市民に課せられた使命と認識し、これを事業活動の重要な柱の一つと捉え、自ら責任を持ち、全社をあげて取り組む。

### 行動指針

1. 国内外の法規制の遵守はもとより、自らの責任において、社会の期待を考慮した環境負荷低減の目標を設定し、その実現に努める。
2. 環境負荷低減の目標達成を可能にする技術革新の推進に努めるとともに、環境保全推進体制の維持・改善を継続的に展開する。
3. 事業所設備の開発・設計・稼働にあたっては、環境との調和を常に把握し、汚染予防、エネルギーや資源の有効利用および廃棄物の削減と責任ある処理を行う。
4. 企画・開発・設計・購買・生産から販売・物流・使用・リサイクル・廃棄に至るすべての段階において、環境への負荷が少なく安全に配慮した製品とサービスを提供する。
5. 環境教育を通じ、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、自ら責任を持って環境保全活動を遂行できるよう、啓発と支援を行う。
6. あらゆる国や地域において、社会と企業の連携を密にし、積極的な情報開示、環境保全活動の助成・支援によって、広く社会に貢献する。

## リコーグループの主な事業内容

### [ 事務機器 ]

#### 画像ソリューション

##### デジタル画像

デジタル複写機、カラー複写機、印刷機、ファクシミリなどの機器および関連消耗品・サービスなど

##### その他画像

アナログ複写機、シアゾ複写機などの機器、および関連消耗品・サービス・サーマルペーパーなど

#### ネットワーク/IO (Input/Output) システム

##### プリンティングシステム

マルチファンクションプリンター (MFP)、レーザープリンターなどの機器および関連消耗品・サービス・関連ソフトなど

##### その他 I/O システム

光ディスク応用商品およびシステム、スキャナーなど

#### ネットワークシステムソリューション

パーソナルコンピューター、サーバー、ネットワーク機器、ネットワーク関連ソフト・アプリケーションソフトおよびサービス・サポートなど

### [ その他 ]

#### その他事業

デジタルカメラ、半導体など



imaggio Neo351 / 451  
( Aficio 2035 / 2045 )  
( モデル765D オプション装着時 )

IPSIО NX850

Aficioは、日本以外で販売している名称です。

## 2002年度の市場の評価と経済的成果

米国市場<sup>\*1</sup>におけるオフィス用白黒複写機の分野で、リコーグループ製品は2002年度、シェアNo.2にランクされました。また、ヨーロッパ市場<sup>\*2</sup>では、同分野において6年連続でシェアNo.1を維持しています。日本では、お客さま満足度調査<sup>\*3</sup>で複写機No.2、ファクシミリが4年連続No.1の評価を頂きました。

した。また、2002年度の連結決算では、9期連続増収、11期連続増益(9期連続最高益更新)を達成しました<sup>\*4</sup>。

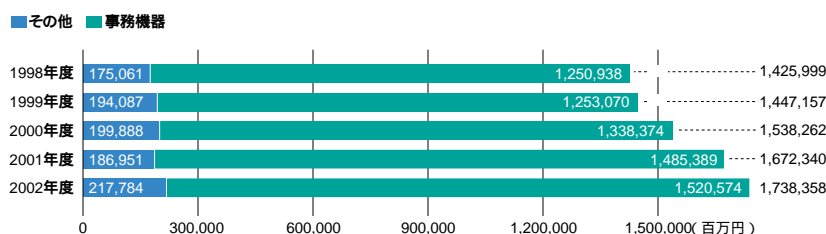
<sup>\*1</sup> Ricohおよびグループ傘下のSavin、Gestetner、Lanierの各ブランドの販売台数を合計したものです(1~10枚/分機を除く)出典：ガートナー データクエスト(2003年3月)GJ03203

<sup>\*2</sup> Infosource S.A社による調査で、Ricoh、Gestetner、Nashuatec、RexRotary、Lanierの各ブランドおよびOEM提供分を含みます(パーソナル機を除く)。

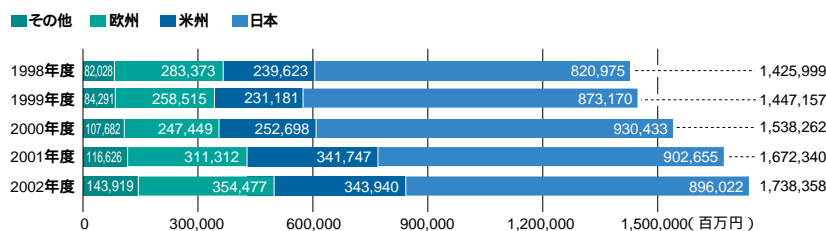
<sup>\*3</sup> J.D.Power Asia Pacific社による調査です。

<sup>\*4</sup> 詳細はリコーのIRホームページ  
(<http://www.ricoh.co.jp/IR/>)をご覧ください。

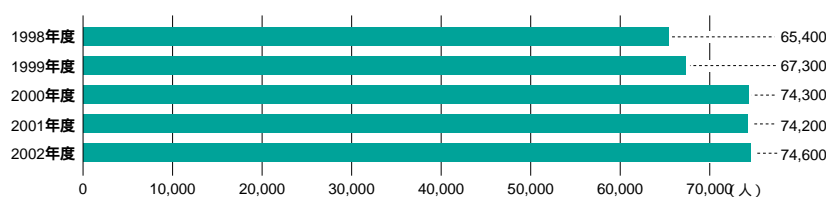
### リコーグループの事業別売上高



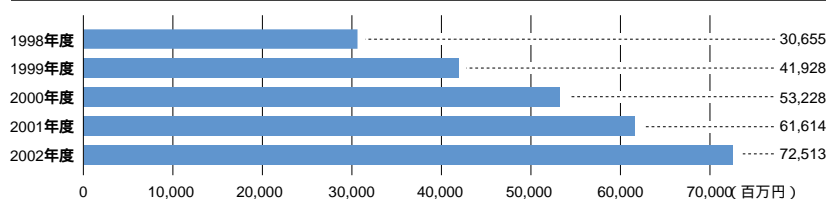
### リコーグループの地域別売上高



### リコーグループの従業員数



### リコーグループの純利益



事業概要データは、有価証券報告書のリコーグループの範囲における実績を表記しています。  
環境負荷データの収集・記載範囲とは一部異なります。